

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成22年6月24日(2010.6.24)

【公開番号】特開2008-15499(P2008-15499A)

【公開日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-003

【出願番号】特願2007-149617(P2007-149617)

【国際特許分類】

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 21/00 3 7 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月30日(2010.4.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

記録材に光を照射する光照射手段と、

前記光照射手段によって照射され、前記記録材からの光を映像として読み取る映像読取手段と、

前記映像読取手段によって読み取った前記映像データを周波数成分データに変換する変換手段とを備え、

前記周波数成分データを用いて前記記録材の表面状態を判別することを特徴とする記録材判別装置。

【請求項2】

前記周波数成分データは、複数のスペクトルからなるデータであって、

前記周波数成分データのうち、予め定められている値以上の振幅値を有するスペクトルの個数を計数し、当該計数した個数をしきい値と比較することにより前記記録材の表面状態を判別することを特徴とする請求項1に記載の記録材判別装置。

【請求項3】

前記周波数成分データは、複数のスペクトルからなるデータであって、

前記複数のスペクトルのうち振幅値が最大となるスペクトルの周波数と、該スペクトルの振幅値と、前記周波数成分データの周波数と前記最大の振幅値とから決まる周波数帯域幅とに基づいて前記記録材の表面状態を判別することを特徴とする請求項1に記載の記録材判別装置。

【請求項4】

前記映像読取手段は、前記記録材から反射される光、もしくは、前記記録材を透過した光を映像データとして読み取ることを特徴とする請求項1に記載の記録材判別装置。

【請求項5】

記録材に光を照射する光照射手段と、

前記光照射手段によって照射され、前記記録材をからの光を映像データとして読み取る映像読取手段と、

前記映像読取手段によって読み取った前記映像データをフィルタ処理して、当該フィルタ処理したデータからコントラストデータを演算する演算手段とを備え、

前記コントラストデータを用いて前記記録材の表面状態を判別することを特徴とする記

録材判別装置。

【請求項 6】

前記フィルタ処理は、ディジタルフィルタ処理、もしくは、ローパスフィルタ処理を含むことを特徴とする請求項 5 に記載の記録材判別装置。

【請求項 7】

潜像を担持する潜像担持体と、画像データに応じて前記潜像担持体に潜像を形成する露光手段と、前記潜像担持体に形成された潜像を現像剤によって可視化する現像手段と、記録材に前記現像手段によって可視化された前記現像剤の像を転写する転写手段と、前記現像剤の像を前記記録材に定着させる定着手段とを有する画像形成手段と、

前記記録材に光を照射する光照射手段と、

前記光照射手段によって照射され、前記記録材からの光を映像データとして読み取る映像読取手段と、

前記映像読取手段によって読み取った前記映像データを周波数成分データに変換する変換手段と、

前記周波数成分データに基づいて、前記記録材の種類を判別する判別手段とを備え、

前記判別手段によって判別された前記記録材の種類に応じて前記画像形成手段による処理条件を可変制御することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 8】

前記映像読取手段は、前記記録材から反射される光、もしくは、前記記録材を透過した光を映像データとして読み取ることを特徴とする請求項 7 に記載の画像形成装置。

【請求項 9】

潜像を担持する潜像担持体と、画像データに応じて前記潜像担持体に潜像を形成する露光手段と、前記潜像担持体に形成された潜像を現像剤によって可視化する現像手段と、記録材に前記現像手段によって可視化された前記現像剤の像を転写する転写手段と、前記現像剤の像を前記記録材に定着させる定着手段とを有する画像形成手段と、

前記記録材に光を照射する光照射手段と、

前記光照射手段によって照射され、前記記録材からの光を映像データとして読み取る映像読取手段と、

前記映像読取手段によって読み取った前記映像データをフィルタ処理して、フィルタ処理したデータからコントラストデータを演算する演算回路と、

前記コントラストデータを用いて前記記録材の種類を判別する判別手段とを備え、

前記判別手段によって判別された前記記録材の種類に応じて前記画像形成手段による処理条件を可変制御することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 10】

前記映像読取手段は、前記記録材から反射される光、もしくは、前記記録材を透過した光を映像データとして読み取ることを特徴とする請求項 9 に記載の画像形成装置。

【請求項 11】

記録材に光を照射する発光素子と、

前記発光素子によって照射され、前記記録材からの光を映像データとして読み取るセンサと、

前記センサで読み取った前記映像データを周波数成分データに変換する変換回路とを備え、

前記周波数成分データを用いて前記記録材の秤量を判別することを特徴とする記録材判別装置。